

大会注意事項

1. 一般チームの編成(ベンチに入れる人数)
 - 1) 監督を含む選手25名以内
 - 2) チーム責任者1名、マネージャー1名、スコアラー1名
 - 3) 背番号は、0～99番。監督は30番・主将は10番とします。
2. 少年・学童チームの編成(ベンチに入れる人数)
 - 1) 選手の背番号は、0～99番、 但し大会参加登録選手数は、25名以内とします。
 - 2) 監督(30番)、コーチ(29番・28番)。 いずれも成人であること。
3. 試合を行う一般チームは、試合開始予定時間 40 前にメンバー表の交換を行います。
4. 試合を行う学童チームは、メンバー表の交換を前の試合の2回終了時に行います。
5. 試合開始時刻になっても球場に来ないチームは、原則として棄権とみなします。
6. 登録及び試合において不正を行ったチームに対する措置
 - 1) 試合中に発覚した場合は、その試合を没収試合とし、相手チームに勝利を与えます。
 - 2) 試合終了後、勝利チームに発覚した場合は、次の対戦相手に勝利を与えます。
 - 3) 決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝チームを優勝とします。
7. 大会の秩序を乱し、その進行を妨げる行為をした場合は、当該選手とチームに対して出場停止処分とします。尚、暴力行為を行った選手は、理由の如何を問わず、直ちに退場させると共に出場停止処分とします。
8. ベンチ内での携帯電話ならびに携帯マイクの使用を禁止です。
メガホンは1個に限り使用を認めます。
9. 用具・装具の使用は公認野球規則で規定されているものの他、次に定める物を装着または使用しなければならない。
10. ユニホームは同一チームの監督、コーチ、選手は全員同色、同形、同意匠であること。
11. 袖の長さは、両袖同一とし、左袖には県名をつけること。日本字・ローマ字どちらでもよいが、栃木、とちぎ、tochigi 等とします。
12. 胸のチーム名は日本字、ローマ字のどちらでも良い。
13. 右袖には社標、商標やクラブのマスコットマークをつけてもよいが大きさは適度のものが望ましい。
14. 背中に個人名を入れる場合は背番号の上部にローマ字で姓のみ。(同姓の選手がいる場合は、名前の頭文字をいれてもよい)

15. ユニフォームシャツ、パンツおよび帽子への宣伝広告掲出を認めます。ただし、掲出部分およびサイズ等は公認野球規則を参照のこと。
尚、背中に個人名を入れる場合および宣伝広告掲出はチームの全員が入れなければならない。帽子は同一チームの監督、コーチ、選手は全員同色、同形、同意匠であること。
アンダーシャツ、ストッキングは全員同色の物であること。
16. 当連盟主催大会では、これまではチーム全員同色のスパイクを着用することとしていましたが平成 29 年度より色の制限を撤廃しました。
17. チーム内でのスパイクの色の統一の必要はありません。学童部は金属製金具のついたスパイクは使用できない。捕手は、ファールカップも必ずつけること。
18. 金属、ハイコンバットのバット・捕手のマスク、レガーズ、ヘルメットは連盟公認のマーク JSBB のついた物を使用しなければならない。
19. 打者、次打者、走者、ベースコーチは S・G マークの入った連盟公認(JSBB)のヘルメットを着帽する事。
20. 素振りリング、素振り用鉄パイプの球場持込を禁止します。
21. ベンチは、抽選番号の若い方を一塁側とします。
22. コールドゲーム・延長戦・時間制限は、各大会毎に要項にて定めます。
23. 一般チーム、学童チーム共に指名打者制を適用します。
24. 抗議の出来る者は一般は監督または主将と当該選手、少年・学童部では監督と当該選手とする。
25. 学童部の試合では投手が変化球を投げる事を禁止します。
26. 塁上の走者およびコーチスボックス・ベンチから打者に球種などを知らせてはならない。
27. ストライク・ボール・フェアー・ファールボール・アウト・セーフ等の判定に対する抗議は認めません。
28. 守備が終った際にボールは必ずマウンドに置いてベンチに戻ること。置くとは、マウンド付近にころがすことではありません。
29. 雨天時であっても球場が使用可能な場合は試合を行います。